

※ここからは「教科別の指導」「各教科等を合わせた指導」に分けず、共通の内容になります。

Step 3 | 単位時間ごとの授業の構想を練る



1 単位時間の授業の構想を練るには、どのようにすればよいですか？

1 単位時間ごとの授業の構想を練る際には、本時において具体的にどのような指導や支援をしようか考えながら、以下の流れで行います。



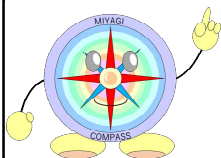
- ① 本時の目標及び評価規準を考える。
- ② 本時の個別の目標及び評価規準を考える。
- ③ 本時の指導過程を考える。
- ④ 本時の具体的な個別の支援を考える。

① 本時の目標及び評価規準を考える。

- ・ Step 2 で考えた単元（題材）の構想（「目標・評価規準設定シート」「単元構想シート」）を基に、「本時の目標及び評価規準」を設定します。教科によっては、1 時間ごとに目標や評価規準を設定する場合があります。数時間単位の小単元（題材）ごとに目標を設定する場合でも、常に児童生徒の学習の様子を見て、以降の授業や指導に生かすことを心掛けます。
- ・ 毎時間、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点について評価することは現実的ではありません。構成した単元（題材）に応じてバランスよく評価します。1 時間の授業で、全ての観点を評価するのではなく、1～2 項目に絞って設定することが多いです。
- ・ 単元（題材）の2 時間目以降は、前時までの学習活動の様子を基に修正することも考えられます。

② 本時の個別の目標及び評価規準を考える。

- ・ 「本時の目標」として設定した目標に合わせ、一人一人の実態に合わせて具体的に考えます。
- ・ 「個別の指導計画」の目標を関連させます。
- ・ 特別支援学校、特別支援学級では、その授業の目標が達成できたかどうかは、個々の児童生徒の「個別の目標」の達成度によって決まります。
- ・ 1 単位時間ごとの個々の学びをより丁寧に見ていくことができるように、1 単位時間ごとの「個別の目標」に対する「個別の評価規準」が重要になります。



児童生徒の「個別の指導計画」に設定されている自立活動や各教科等の目標の達成に向けて、「個別の目標」が設定されます。

その際、「1 単位時間ごとの個別目標」は、スモールステップで達成させたい内容を、考えてみるとよいですよ。